

小児科

診療科の方針

平日の一般外来・専門外来と急性疾患を中心とした一次から三次までの24時間小児救急医療を行っています。小児病棟は基本24床(すべて個室)であり、そのうち9床(うち1床は麻疹・水痘患者に対応出来る陰圧部屋)は看護師ステーション横の監視モニターがついた部屋で24時間付き添いができない小児の入院にも対応できるようにしています。ただ、新生児に関しては院内出生児のみ対応しており院外出生児は受け入れていません。

2020年度小児科常勤医は、小児科専門医3名、産業医大小児科からの小児科後期修練医1名、小児科後期研修医2名のあわせて6名です。小児科専門医研修制度の基幹施設である産業医科大学病院小児科から常勤医として1～2年毎に小児科専門医または小児科後期修練医・後期研修医を交替で派遣してもらっており、小児科専門医育成と新しい知識の吸収・医療レベルの向上に努めています。また、地域ニーズの多い一次・二次小児救急を維持するために、常勤医だけではカバーできない当直帯の応援医師派遣も産業医科大学小児科から多大に受けております。

主な診療領域

救急医療：一次から二次・三次救急を24時間体制で行っており、常勤医と産業医科大学小児科からの応援医師にて対応しています。

一般外来：感染症・呼吸器疾患・消化器疾患等に対応しており、平日午前中に、神代万壽美医師と多久佳祐医師が担当しています。新患は紹介患者さん優先とし、病診連携を重視しています。

専門外来：各外来の担当医師は以下の通りで、紹介・予約制です。

神経外来：五十嵐亮太・高野志保・石井雅宏

遺伝相談：石井雅宏

内分泌代謝：山本幸代・久保和泰

腎臓：齊宮真理

循環器：神代万壽美

診療科の特徴

当院の小児救急医療の最大の特徴は小児科だけでなくすべての科とパラメディカルスタッフが小児救急を支えていることです。救急搬送の患児には小児科と総合診療科が一緒に対応し、また外傷であれば、総合外科・整形外科・形成外科・脳神経外科等の医師も一緒にみてくれます。また必要な検査が夜間でも行え、連携のよさ、迅速な対応力は目をみはるものがあります。

平成27年に発足した京築地域の救急搬送小児痙攣疾患患者をドクターカーでドッキングピックアップするシステムは小児科医師の努力の下に継続しています。痙攣重積状態で当院に到着する京築地域の患者さんの治療をより早く開始することができ、救急隊からは今後も継続を期待されています。当システムで、2019年度に当院へ搬送された児の延べ人数は22名でした。

2019年度 診療実績数

年間一般外来患者数	12,135人
入院患者数	1,019人
年間救急外来患者数	8,337人
救急車搬送患者数	537人
救急外来患者数合計	8,874人



小児科外来専用待合室

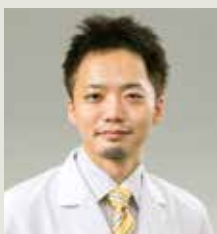
〈小児科医師〉



部長

神代 万壽美
こうじろ ますみ

昭和57年卒



多久 佳祐
たく けいすけ

平成24年卒



池上 朋未
いけがみ ともみ

平成25年卒



川瀬 真弓
かわせ まゆみ

平成25年卒



河原 風子
かわはら ふうこ

平成29年卒



神田 里湖
かんだ りこ

平成29年卒

専門外来非常勤医

〈内 分 泌 外 来〉山本 幸代：日本小児科学会小児科専門医、日本内分泌学会内分泌代謝異常専門医、日本肥満学会肥満症専門医

〈内 分 泌 外 来〉久保 和泰：日本小児科学会専門医

〈神経外来・遺伝相談〉石井 雅宏：日本小児科学会小児科専門医、日本小児神経学会小児神経専門医、臨床遺伝専門医

〈神 経 外 来〉高野 志保：日本小児科学会小児科専門医

〈神 経 外 来〉五十嵐亮太：日本小児科学会小児科専門医

〈腎 外 来〉齊宮 真理：日本小児科学会小児科専門医